

令和5年第5回女川町教育委員会会議録

- |    |             |  |
|----|-------------|--|
| 1  | 招集月日        | 令和5年5月26日(金)   |
| 2  | 招集場所        | 女川町役場 3階 小会議室  |
| 3  | 出席委員等       | 1番 横井 一彦 委員<br>2番 新福 悦郎 委員<br>3番 中村 たみ子 委員<br>4番 山内 哲哉 委員<br>平塚 隆 教育長  |
| 4  | 欠席委員        | なし   |
| 5  | 説明のため出席したもの | 教育局 局長 阿部 恵<br>教育局 参事 千葉 英貴<br>教育局 次長兼指導主事 田中 浩司<br>教育局 次長 中嶋 憲治<br>教育局 教育指導員 坂本 忠厚  |
| 6  | 本委員会の書記     | 参事 千葉 英貴   |
| 7  | 開 会         | 午前10時00分   |
|    | 教育長         | それでは、令和5年第5回女川町教育委員会を開会します。  |
| 8  | 会期の決定       |  |
|    | 教育長         | 会期は、本日1日限りといたします。  |
| 9  | 前回会議録の承認    |  |
|    | 教育長         | はじめに、前回の会議録の承認の件をお諮りいたします。<br>すでに配付されておりますが、委員の皆様方何かお気づきの点<br>はありませんでしょうか。<br>無いようですので、承認とさせていただきます。   |
| 10 | 会議録署名委員の指名  |  |
|    | 教育長         | 1番 横井 一彦 委員<br>4番 山内 哲哉 委員 よろしく願いいたします。  |
| 11 | 報告事項        |  |
|    | 教育長         | 次に、5番「報告事項」に入らせていただきます。<br>はじめに、私からご報告いたします。<br>改めまして、皆様、おはようございます。<br>お忙しいところお集まりをいただき、ありがとうございます。<br>いつの間にかというか、季節が夏だなというくらい緑が深くな<br>ってきました。<br>昨年も同じ話をしたのですが、朝、教育長室のブラインドを開 |

けて眼下に広がる江島をはじめとした女川湾の景色を見ると、やはり日本一の教育長室だなと相変わらず感じながら、今年も生活しておりました。

第1学期がスタートして間もなく2カ月が経とうとしています。おかげさまでと言ったら言葉は変ですが、学校においては、小さなことはいろいろあるのですが、大きな事件や事故も無くここまできているかなというふうにも思っています。

ゴールデンウィークですが、後半は少し雨模様でしたが、全体的には天気にも恵まれて、たくさんの方々が女川を訪れていて、おいしい海の幸を味わったり、心地よい潮風と戯れたりしている様子が確認できました。

明日は小学校の運動会であります。中学校同様、感動のある運動会になるよう願っているところであります。

それでは、ここからは着座にて、レジュメに沿ってお話をさせていただきます。

まず、学校関係について、主だったものをレジュメに沿ってお話をさせていただきます。

4月27日(木)、第1回講師等研修会を行いました。

記載のとおり、今年は3名の先生方が教員採用試験に挑むこととなります。

教員を志す人が少なくなっているということが言われるのですが、講師、それから職種によってはかなりの倍率になっています。特に養護の先生は20倍近くということは、今年もそうなのかなと思っているところです。

まずは7月に行われる第1次選考に全力を尽くしてほしいという話をしてきました。

次の日の28日(金)ですが、全校児童生徒を対象に、カタール国との交流について学ぶ会を実施しました。

はじめに、カタール国との関係を築いていただいた女川魚市場買受人協同組合の石森理事長から、カタール国の歴史や本町とのつながり、それから当時の女川町の様子についてお話をいただきました。

次に、昨年カタール国を訪問した山内友結さんから、国の様子、ワールドカップ、カタール国での感謝の会などについての報告をしてもらいました。

今後は、子供たち同士の交流をと考えていますので、これからまた違った意味で忙しくなってくるかなというふうに思っているところであります。

総じてとても、子供たちにとっても、我々にとっても勉強になった会でありました。

5月13日(土)は女川中学校の運動会でした。

当日も何人かの方々と話をしたのですが、第3学年の頑張りには正直驚きました。そして、第3学年を中心にして、全校生徒一丸となって運動会を成功させようとする姿勢に感動しました。改めて、委員の皆様方には、お忙しいところ運動会にお越しいただいて、ありがとうございました。心から御礼を申し上げたいと思います。

また、先程申し上げましたが、明日、今度は小学校ですので、期待して見守りたいというふうに思っているところです。

5月23日(火)、東部教育事務所の所長訪問ということで、今年度着任された高橋秀夫所長、この方は大河原からいらしたようですが、4名の皆様が教育委員会と学校を訪問されました。続いて、会議、教育委員会関係です。

4月30日(日)、コバルトレ女川のホーム開幕戦ということで、仙台大学のチームと戦ったのですが、WACK女川スタジアムになって初めて応援に行ってきました。少し肌寒い天気だったのですが、見事3対0で勝利しました。

監督も代わったんですね。何となくですが、全体の雰囲気もちょっと変わってきたなという感じがしています。今後の活躍を楽しみにしています。

レジュメにも書いたのですが、残念ながら応援している楽天ゴールデンイーグルスもベガルタ仙台も調子が悪いので、今年は、コバルトレ女川の年にならないかなと思っているところがあります。

5月2日(火)、宮城県町村教育長会の定期総会がありました。席上、義務教育課長から、今年度の義務教育課の所管の事業等についての説明がありました。

話題提供として、本年度は、涌谷町と村田町の教育長から町の現状と課題についての話がありました。

特に少子化の問題は、どの町にとっても非常に深刻で、統廃合を含めて頭が痛いとお二人の教育長さん方も話をしておられました。

5月5日(金)、この日は女川町スポーツフェスティバルを開催しました。

レジュメにも記載したのですが、町内外から親子連れ142人の参加がありました。私は去年からなのですが、今までの中でも

多くの方々に訪れていただいたなど。ニュースポーツなどいろいろなところに行っていたいただいて、頑張っって汗を流している姿に、よかったなと思っって帰ってきました。

5月15日（月）、16日（火）ですが、東京の銀座ブロッサムというところを会場に、全国町村教育長会の総会が開催されて、出席してきました。

実践報告ということで発表を依頼されて、私も「これからの女川町が目指す教育について」ということで発表をさせていただきました。

3年ぶりの通常開催ということもあったのですが、北は北海道から南は沖縄まで、500人以上の教育長さん方が一堂に会して総会を開催しました。

また、総会の前に、村上善司前教育長が教育功績者表彰を受賞されました。

ご存知かと思うのですが、村上前教育長については、12日、瑞宝双光章の叙勲を受けられて、天皇陛下とも謁見なさってきたという話でありました。この件については、後ほどまた改めてお話をさせていただきたいと思っています。

5月20日（土）、女川町子供司書養成講座の開校式。これもずっと女川町の伝統かな、とてもいい試みだなと思っっているのですが、行いました。

本年度は、第5学年が3人、第4学年1人ということで、4名の児童が受講することになりました。

続いって、情報提供ということで何点かお話をさせていただきます。

まず、5月14日（日）ですが、第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会陸上競技大会が開催されまして、本校の特別支援学級に在籍している4名の生徒たちが参加してきました。

初めての参加だったのですが、第2学年の佐々木君がソフトボール投げで第1位、第1学年の阿部君が第2位と、賞状をいただいってきました。

表彰式後の集合写真を私も見せてもらったのですが、応援に来ていた家族みんなが満面の笑顔で写っている写真を見て、すばらしいなと思っったものですから、皆様方にも紹介させていただきます。

二つ目は、去年からずっと話をしている部活動についてであります。

子供たちや保護者へのアンケート結果の集計が終わっって、これ

から集計結果をベースにして、子供たちや先生方との話し合いを行いながら、最終的には、女川の教育を考える会で具体案を決定していきたいと思っていますところでは。

最終的には、第2学期に予定しております第2回の女川の教育を考える会で正式決定をさせていただいて、次年度への準備という流れになります。

予想どおりというか、いろいろな考え方があって、なかなか一概にこれを削ってというのは難しいような感じがします。改めてある程度固まった段階でお示ししたいとは思っているのですが、本当に多種多様、そのニーズに応えるのはなかなか大変で、ある程度絞っていかねばならないと思いつつも、皆様のご意見を聞きながら決めてまいりたいと思っていますところでは。

もう1点、レジュメには記載しなかったのですが、出島架橋の工事もだいぶ進んで、工事関係者のご配慮によって、このたび、女川小・中学校の全児童生徒を対象に、現場見学会を実施していただくことになりました。

期間は、5月30日（火）から6月中旬まで、学年ごとに参加ということになりました。

私も31日（水）に行ってまいりたいと思っています。こちら側からアーチ形がもう見えるんですよ。すごい見学会になりそうだなと思っていますところでもあります。

5番の女川小学校・女川中学校の主な行事予定を含めて、学校から上がってきたものについて、詳しいことについては、後ほどの協議会の中でお話をさせていただきますので、ご了解を賜ればと思います。

結びになりますが、いよいよ中総体が行われます。6月10日（土）、11（日）に迫ってきました。ぜひ学校を挙げて真っ赤に染まってほしいなというふうに念じているところでは。

聞いたら、今年も職員・先生たちとの壮行試合を行うということをしていましたので、先生たちも張り切っているようですから、応援してまいりたいというふうに思っているところでもあります。

中総体が終わって6月に入ると、議会があります。私も答弁等スムーズに行えるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げまして、私からの報告とさせていただきます。

続いて、教育局長から報告させます。

教育局長 それでは、学校教育関係からご報告させていただきます。

1の日程関係の実施済みにつきましては、恐縮でございますが割愛させていただきまして、実施予定からご覧いただきたいと思っております。

(1)東部採択地区協議会役員会が6月5日(月)に予定されておりまして、教育長が出席されます。

(2)町教育委員会主催の初任者研修会を6月6日(火)に予定しております。

(3)木村民男先生をお招きしての教職員研修会を6月14日(水)に予定しております。

(4)6月定例会につきまして、6月16日(金)から開催されます。現在、会期は未定でございます。

(5)秋田県東成瀬村におきまして、教職員視察研修会を6月23日(金)に行う予定としております。

(6)第2回管内教育委員会教育長会議が6月27日(火)に予定されております。

(7)第1回女川の教育を考える会を6月28日(水)に予定しております。部活動の地域移行に関して話し合いをする予定でございます。

大項目2番の教育行政評価委員につきまして、ご報告いたします。

2ページ目をお開きいただきます。

女川町教育行政評価委員名簿でございます。

1番の有見正敏委員と3番の島貫洋子委員につきましては、再任でございます。

これまで、長くお務めいただきました桂島晃委員に代わりまして、今期から、前田正先生に就任いただくこととなりました。宮城教育大学教育学部の特任教授をなさっていらっしゃいます。

3名の委員の任期につきましては、令和5年4月1日から令和8年3月31日までの3年間でございます。

今年度、7月開催予定の第1回教育行政評価委員会の席上で、委嘱状を交付させていただく予定となっております。

次に、3ページ目をお開き願います。

3番、その他、学校支援につきまして、2件ご報告いたします。

1点目は、西宮市音楽協会様より、5月2日(火)に女川町の小・中学生の音楽教育のためにと1,314,010円の寄附をいただきました。こちらの寄附金は町の基金に積み立てし管理されます。今後、小・中学校の音楽教育のため活用させていただきます。

もう1点は、福岡県の団体でございます、希望のひまわりプロジェクト様より、5月10日にヒマワリの種1リットルとサッカーボール2個をいただきました。教育委員会の窓口にお届けくださいます、現在、小学校にお渡ししております。

一般事項につきまして、(1)県警提供の不審者情報が1件、東松島市の事案が届いております。学校と共有しております。

(2)でございます。今ほど教育長からご報告がございましたとおり、現在建設中の出島架橋本体工事につきまして、女川小・中学校の児童生徒向けに現場見学会を開催していただくこととなりました、5月30日(火)から6月16日(金)までのうちの6日間で、架橋組立てを行っている石浜ヤードを会場に、現場説明、ボルト締付体験、高所作業車や重機の試乗体験、記念撮影などが準備されているということでございます。

次に、4ページ目をお願いいたします。

生涯学習・体育振興関係の主なものについてご報告させていただきます。

まず、生涯学習事業等につきまして、(3)番、老壮大学についてです。

1回目を6月28日(水)に予定しております。現在の申込者数は91人ということで、前年度比1.26倍と、大変楽しみにしてくださっている方が多いという状況でございます。

1回目は、「携帯電話・スマートフォンの安全な使い方」というタイトルで、石巻市視聴覚センターの社会教育主事の先生がご講話をくださいます。

(5)出前講座でございます。

5月に三つの行政区から要請がありました。旭が丘区、尾浦区、竹浦区につきましてはペタンクについて2回の依頼がありました。

それから、プラットフォーム事業につきましてご報告いたします。

(1)学校支援、①学校講師派遣については、サツマイモの苗の植栽を小学校第2学年を対象に行いました。

そのほか、情報モラル教室、歯科学習、職業ミニ体験を予定しております。

②番、潮活動についてです。

潮活動の協働教育コーディネーター研修会を兼ねて、5月19日(金)に、講師と担当教員の顔合わせ、今年度の進め方についての話合いの場を持ちました。

5ページ目をお願いいたします。

③番、児童に対して行います町の出前講座についてです。

小学校第3学年と第4学年の児童を対象として、ご覧の内容で予定されております。

それから、(3)家庭教育支援の②親子アドベンチャークラブについてです。

1回目を6月17日(土)に予定しておりまして、火起こし体験、それからカートドック作り、ホットドッグのようなものということですが、そちらを予定しております。

大項目2番でございます。

放課後「楽校」につきまして、①申込者数でございます。トータル116人の児童からの申し込みがありました。令和4年度94名ということで、さらに増えています。

なお、第1学年、第2学年だけを取り出して考えてみますと、合計80人のうち60人(75%)の申し込みがあるということで、こちらも盛況に開催させていただいているという状況でございます。

②番、放課後楽校の特別講座についてです。

月曜日に開催しております特別講座、ご覧のメニューでございまして、運動系、文化系、バランスを取りながら今後も提供してまいりたいと思っております。

3番のその他の事業でございます。

(1)家読推進事業でございますが、子供司書養成講座開講式、それから講座の1回目を5月20日(土)に開催いたしました。先程教育長からもございましたが、今年度は児童4名ということでございますが、そのうち1名は男子児童の参加でございまして、これをきっかけに子供司書の男子への広がりということも期待したいというところでございます。

(3)ジュニア・リーダー活動につきまして、今年度の新規会員は2名、中学校第1学年1名と第2学年1名ということで、今後も入会につきましては、継続して声掛けをしてまいりたいと思っております。

②番、「さくら咲くお地蔵様の市」というところでジュニア・リーダーが子ども無料コーナーをサポートするという活動がございました。中学生、高校生の会員のほか、高校生のボランティア1名が参加しております。

まずはボランティアとして参加いただいて、それをきっかけにジュニア・リーダーの活動に興味を持っていただければと思っ



ております。

次に、6ページ目をお願いいたします。

体育振興関係の事業についてです。

まず、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、5類に引き下げられましたが、検温や消毒等は継続して行ってまいりたいと考えております。

それから、5月のイベントにつきまして、みんなのスポーツフェスティバル、ライオンズクラブ旗争奪石巻地区中学校ソフトボール大会がございました。5チームの参加でございましたが、矢本第一中学校の優勝という結果でございました。

それから、コバルトーレ女川のホーム戦でございます。こちらは予定でございます。5月28日(日)に一目千本桜FCということで、仙台大学のチームでございます。

6月のイベントでございます。

宮城県高等学校総合体育大会柔道競技大会が6月3日(土)と4日(日)、石巻地区中学校総合体育大会柔道競技大会が6月11日(日)、いずれも総合体育館で予定されております。

それから、6月はコバルトーレ女川のホーム戦が2試合予定されております。

テイラー・アンダーソンカップ2023in女川ということで、サッカーの大会でございます。6月17日(土)に予定されております。

最後に、施設整備状況でございます。

女川スタジアム周辺整備工事は完成いたしまして、供用を開始しております。

そのほか、第二多目的運動場のスタンドの防水改修工事を5月24日(月)に契約いたしました。契約の相手方は、町内の阿部忠鉄工株式会社でございます。

5年度分といたしまして、そのほかにも、第二多目的運動場のトイレの改修と、野球場のスタンドとトイレの改修を予定しているという状況でございます。

以上でございます。

教育長

報告は以上となりますが、委員の皆様方からただ今の報告事項について何かご質問、ご意見はありませんか。

新福委員

質問が一つあるのですが、体育振興事業では、新型コロナウイルス感染症の対策でこういうふうに検温、消毒を継続するということは分かったわけですが、学校の方はどうなのですか。それは、その後ずいぶん変わったのでしょうか。特に、私は給食が気

になっていたの、それがどういうふうになったのかお聞きしたいのですが。

教育長 基本的には、これまでの例えば換気、手洗い、検温、検温といっても、我々もそうですが、学校に行くと検温器で計って入るのですが、前みたいにきっちりした形ではなくて、マスクの着用についてもほとんど子供たちはしています。登下校の様子を見ると、何人かはマスクを外しながら来ている子もいます。ただ、ほとんど8割以上の子供たちは、マスクをつけて登校しているという感じです。

学校の生活においても、体育で移動する時も、マスクをして移動して、始まると外すという形になっているのかなと思っているところです。

給食等についてはどうなのでしょう。正式に把握していない部分があるのですが。

教育局長 申し訳ございません。給食の現場での様子をしっかり把握しておりませんでした。

ただ、黙食については求めないという通知がございましたので、それを強制ということはしていないはず。間隔を取って会話を許しているのかなというふうには思うのですが、未確認の部分もございます。申し訳ございません。

新福委員 この前見た中学校の運動会で、外の競技なのにマスクをしている子が何人かいたので、もういいのではないかなと思いつつ、むしろ走ったりするのに邪魔になるのではないかなというふうに思った部分もあって、新型コロナウイルス感染症もこんな感じで日本全国解除の方向にいつているので、強制はしていないと思うのですが、通常の方法で行ったらいいかなと。

特に給食ですね。私、教育実習で巡回指導もしているのですが、昨日青森の中学校で話を聞いたら、給食指導は、やはりグループはまだやっていないという話でした。でも、おしゃべりは結構するようになってきているということでした。

県によっていろいろ、あるいは学校によって状況がまだいろいろあるようですが、話ができない、コミュニケーションが深められないという部分で、実習生もすごく悩んでいると。給食の時間は結構、コミュニケーションを取って関係性をつくるという重要な場面なのですが、そういうこともあって、少しずつ通常に戻っていけばいいのかなと私は思っています。

以上です。

教育局長 学校での給食の対応をどのようにしているのか、委員協議会の

教育長	<p>前までに確認させていただきたいと思います。  常々学校に行っていらっしゃるお二人の先生方から何かございませんか。</p>
坂本教育指導員	<p>グループは作らないで、前の方を一斉に向きながらやっていますが、あとは、前と同じように、特に高学年の人数が多い第5学年、第6学年を二つの教室に分散しながらということで、距離を保ちながらやっているという状況です。</p>
教育長	<p>詳しいことは、後ほど報告させていただきます。  (委員協議会開会前、局長報告)</p> <p>給食について、学校に確認しました。5月8日(月)から黙食をしなくて良いこととなりました。ただ、教室の中では同じ方向を向いて食べていますということです。これまで1クラスを二つに分けて食べていたが、それはやめた。黙食をしなくて良いとなったが、子供たちに黙食の習慣が付いていて、なかなかしゃべらないそうです。もちろん騒いだりせず、静かに食べている状況だそうです。ランチルームについても、今は使っていないが今後、様子を見ながら使用について考えていくというお話しです。小・中同じ対応ということでした。</p>
新福委員	<p>給食については、よろしいでしょうか。</p>
教育長	<p>はい。</p>
横井委員	<p>ほかにございませんか。  質問ではないのですが、出島架橋の出来上がり具合を毎日見る機会があるので、タイミング的に今だなと思っていたのですが、来週からということで、あと多分、天辺のアーチのところは1ピース入るともう、全体が見える形に今なっているはずなので、あれを子供たちが見る機会があるといいなと日々思っていましたので、とてもいいことだなと思います。</p>
中嶋次長	<p>あともう一つ、WACK女川スタジアムになって、外側のところに看板が付いたのですが、あの色やデザインは向こう側の指定なのですか。</p>
横井委員	<p>WACKの会社と協議をさせていただきまして、色は黒、黒のWACKという形と、あとロゴのマークを入れてくださいということで、協議をした結果あの形になったということです。  ちょっと遠目に見ると分かりづらいなという、正直な感想ですけど。元々の女川スタジアムの表示が白で、背景が木の色に、黒なので、交差点辺りから見ても、読み取りづらいなと。分かりました。</p>

教育長 ほかにございませんでしょうか。

中村委員 中村委員、山内委員、何かございませんか。

中村委員 中学校の運動会、本当に昨年に比べたら子供たちが成長したなという気がして見ていたのですが、入退場の様子を見ても、あと競技中の子供たちの態度を見ても、本当によく頑張っていたなという気がします。それがあと学校生活の中にずっとつながって行って、あと学習面への影響の方もいいものが出てくればいいなというふうに感じて見ておりました。

山内委員 以上です。

山内委員 私も運動会はすごく思うところがあって、褒めるところがいっぱいあると思うのですが、皆さんのご想像のとおりなので、放課後「楽校」を毎日小学校でやっています、先程登録者人数も出ていましたが、去年、今の第2学年が第1学年の時にすごく第1学年の人数が多くて、今年も蓋を開けてみれば、第1学年の人数が多くてという状況で始まったのですが、去年度と比べると子供たちの遊び方というか、子供たち自体もすごく変わっているというか、その一個特徴付けるのが、校舎からすると校庭の向こう側に部室があって、部室の脇に小さい池があるんですね。ビオトープがあるのですが、そこに最近、第1学年と第2学年が網を持って、カエルとかオタマジャクシとかアメンボとか、ヤゴを捕まえていくと言って、我先に網をガッと取って、網も、貸して、貸してと網の争奪戦みたいな感じで、子供たちが毎日遊んでいる姿を見ながら、自分たちの昭和の時代のザリガニ捕りをしていた時代を思い出して、子供らしい遊びをしていて、いいなというか、女の子もダンゴムシを虫かごに集めて、「先生、ダンゴムシ捕まえた」と。「ダンゴムシ捕まえて何するの」、「いいでしょう」とかと言ったりする、そういうシーンが去年からすごく増えてきて、子供たちが子供たちらしい遊びをしているというか、自然と溶け込むというか、自然を取り入れた遊びというのをすごくしているなというのが、非常に田舎の子供らしくていいなと思っています。

教育長 ゲームなんか無くてもいいんじゃないかという、そんなことを毎日考えながら過ごしています。

教育長 そのあたりどうでしょう。仕掛け人の坂本教育指導員いかがでしょうか。

坂本教育指導員 教育長も自ら淡水魚オイカワとかタイリクバラタナゴを取って水槽の中に入れて、子供たちにその魚の生態についての講話をしたり、それから中嶋次長も、沢の上の方からカエルの卵を取

って、それを水槽の中に入れて、約 50 匹くらいですか。最初は黒いもので、子供たちは何か分からないというところから、最初シラスのようなものが、やっと今オタマジャクシの形になってきたというようなところを、毎日、朝、子供たちが見に来るんですね。メンバーもだんだん固定しつつ子供たちが興味を持ってやっています。

あと最近、第 6 学年の生き物係の子が水槽を洗ったり、特に女の子が、ろ過装置のマットは結構泥が付いて汚いのですが、ああいうのを平気で手でもみながら洗ったりということもできたので、そういうところから少しずつ子供たちも目を向けることができるようになるのかなというふうに思っています。

教育長  
山内委員

ありがとうございました。何かうれしいですね。

坂本教育指導員の水槽の洗浄依頼は去年まで女川向学館にきていたのですが、最近は女川向学館に依頼が来なくなったんですね。

教育長

私も校長・教頭会議とかで行くたびに、あそこは何コーナーというんですか。生き物コーナー？

坂本教育指導員

一応、女川小水族館といいます。

教育長

ぜひ、今度見ていただいて、いろいろな魚がいますから。子供たちにとっては、とてもいい勉強の場かなと思っていて、ぜひそういう思いを大切にしたいですね。

ありがとうございました。

ほかに何かございませんか。

なければ、報告事項についてはよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

## 12 その他

教育長

それでは、6 番「その他」に入りたいと思います。

その他で何かございませんか。

(「ありません」の声あり)

教育長

それでは、来月の日程についてですが、前回の教育委員会であらかじめ決めておりましたので、6 月 30 日(金)午前 10 時から。会場は、女川町生涯学習センター研修室 2 で行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、この場で 7 月の日程も調整をさせていただきたいと思います。

[7 月 25 日(火)午前 10 時からということで調整]

教育長

それでは、7 月の教育委員会は、7 月 25 日(火)午前 10 時から女川町役場 3 階小会議室で行いたいと思いますので、委員の

13 閉 会

皆様、よろしくお願ひいたします。  
ほかにございませんか。  
なければ、本日の教育委員会をこれで終了させていただきます。  
午前10時30分

14 この会議録の作成者は、次のとおりであります。


参事 千葉 英貴

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

令和5年6月30日

会議録署名委員

1 番委員

横井一彦 

4 番委員

山内哲哉 